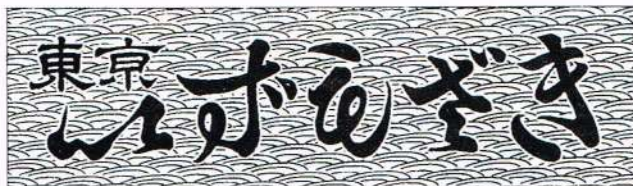




会
報



東京出雲崎会
会 長 丸 山 保
発 行 津 山 忠 夫
責任者
〒275-0001 習志野市東習志野8-16-13
電話 047-479-3561

平成15年度

第5号

1月吉日



おめさん きなせや
「おけさの国」へ
迎える嬉しさあちこちで……



＜東京出雲崎会＞ 平成15年度「定時総会」開催のご案内

- ◎日時……平成15年3月8日（土）
受付開始…午前11時より
開会…12時 閉会…午後3時30分
- ◎場所……錦糸町「ロッセプラザ」葵の間
（東京都墨田区錦糸4-6-1 電話03-3625-5101）
- ◎会費……合計12,000円
（年会費1,000円＋総会費11,000円）
- お問い合わせは…電話047-479-3561【津山】

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
本会は昨年60周年を迎え、その記念行事を済ませ、次世代に向け新たな一歩を踏み出しました。東京新潟県人会の郷人会としての理念の基に本会の内容の充実を計り、他の郷人会との交流を通じ、故郷礼讃の輪を広げつつあります。また昨年は故郷の若人が主催する「出雲崎夕日コンサート」のプログラムに協賛広告を掲載し相互の交流を密にしました。最近「明治時代の近代化の歴史を再考する事で学ぶ物が多い」と云われております。故郷の歴史を学び直す事に依って、共通の認識を持てば、お互いの心が通じ話の場が多様化するので、会の中にその学ぶ場を作るのも会の充実の一助になると思っております。その一例として良寛堂が建立されて80年……。大正11年の良寛堂上棟に関わる人間関係などは、良き題材と思います。定時総会にご出席頂き皆様のご意見を拝聴いたしたく存じます。本会を通じて、楽しい思い出が残るよう念願致しております。



会 長 丸 山 保

見なけりゃ損 ぞん
アトラクション
をう ご期待!

盛大に行なわれた「創立60周年記念」定時総会・懇親会

楽 し い ス ナ ッ プ

平成14年3月9日 錦糸町ロッテプラザに於いて
御来賓の方々からのお祝辞と幼なじみの面白おかしく楽しい顔・顔・顔



ご来賓の皆様方
東京新潟県人会から：広川様・植木様・小林様・篠原様・高橋様
柏新時報社：岡島様 出雲崎小学校校長：西沢様
新潟出雲崎会から：太古様 (順不同)



功労者表彰
左より：嶋川氏(故)・千代田氏・青山氏



益々意気盛んな「さざなみ会」の面々



来年還暦を迎える「紙ふうせん」の若者達

賑やかな懇親会風景

いまが盛りの「はこの会」の若人達?



ここではヤンチャ「夕渚会」紳士淑女



東京出雲崎会六十周年記念の盛大な盛り上がりには敬意を表します。参加の皆さんの嬉しさが肌感じました。記念品まで頂戴し恐縮に存じます。副議長の矢川さん出小の西沢さん等にも話ができました。会が益々よい方向に進んでいることを肌身感じます。

漁師は気が短いのかと思いきや、どうしてどうして、定時総会も手を抜く事もなく整然と執り行われました。第一部の総会、第二部の記念の会と第三部祝宴懇親会まで実に5時間を掛けて行なわれた事にせつかちな筆者は2度ビックリでした。やる事がデッカイ、さすが出雲崎でした。

平成十四年十月十四日
長岡市の成願寺温泉（養
寿館）（一泊）に元氣も
のが集まる（記念品・筵
などを配布する）。

遠くは、北海道・大阪・
愛知県などからも懐かし
がりや三十六名集まり顔
を見るなり、蜂の巣を空
いたような賑やかなもの

悠久山公園や山本五十六記念館と吞んべえ好みの「美の川酒造」見学で試飲にはご満悦顔でした。我々は、戦前・戦中・戦

後の中で千辛万苦の時代を無事にくぐり抜けてきた陰で悲喜こもごもの場面を見てきたのである。次の再会を託し、固い約束の上、三々五々に惜別の念にかられ、元気でなあと帰途に着く。

雁金保次（記）

平成十四年八月十四日、旧出雲崎中学校第十一回卒業生（昭和三十三年三月卒）の「還暦同級会（やぶち会・仲間意）」を小林則幸町長様、恩師の池田米一先生をははじめ、多くの同級生の出席を得て、地元で開催する事ができました。当日はお祝ひ、物故者への哀悼の意を表した後、出雲崎おけさ、大夫舞に懐かしさと風情を味わいながら談笑。翌夕方、還暦に華を添えた記念の花火に感激を新たにしました。

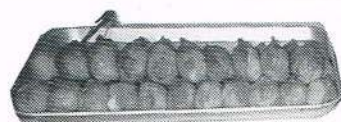
活躍する 郷土出身者

うまい美味しい いなり寿司 伝統の味・仲野食堂

今、仲野食堂は四代目女将の昭子さん（三代目義母上・五代目娘さん）が取り仕切っています。いなり寿司の美味しさは、明治からの秘伝のタレ汁を染み込ませた揚げにありまます。また美味しいものは、いなり寿司だけでなく、他にのり巻き（各種類）・五目ちらし・卵焼き等の一般家庭料理も作って昼時は大変な混みようです。

女将さんの信条
昔から引き継がれている
いなりの味をしっかり守って
引き継いでいくこと。

写真右上「あとう海」さんと、右下撮影風景



東京都新宿区西新宿 5-10-23
尼瀬出身「紙ふうせん」仲野昭子

平成八年二月三日、テレビ朝日「OH! エルくらぶ、新宿十二社グルメMAP・隠れたグルメスポット」。平成十一年十二月二十五日、日本テレビ「あとう海のぶらり途中下車の旅」。グルメと昔懐かしい伝統の味として、いなり寿司がお袋の味と近所の人々や会社の老若男女のお腹を満足させていると、二度紹介放映された「仲野食堂」。

深海底から地球深部へ

稲荷町出身 「夕渚会」 井田正比古

発展しました。

その後1979年からは日本で最初の深海潜水調査船「しんかい2000」システムの開発と運航体制の整備を、1987年からは世界最高水準の性能を有する、深海潜水調査船「しんかい6500」システムの開発と運航に関わってきました。更に

生等、地球史を解明する上で重要な物的証拠が数多く深海底の地層深く眠ったままになっています。この人類未踏の地球深部へ科学の光を充てるべく地球深部探査船「ちきゅう」の建造が進んでいます。

「ちきゅう」は、4,000mの深海域で、海底下7,000mを掘り抜く能力を備えた最新鋭の科学掘削船です。世界中の一線級の研究者が「ちきゅう」上に一堂に会して実施されるこの大プロジェクトは、既に多くの成果が予見され、大きな期待が寄せられています。

海洋は地球上に残された最後のフロンティアと言われてきました。しかしそれは地球深部へと更なる広がりを見せています。

海洋科学技術センター

深海地球ドリリング計画推進室



地球深部探査船「ちきゅう」完成予想図

自分をふくめ、人類の海中での活動の可能性の追及を志して以来、早30年の時が過ぎてしまいました。少年の頃、夏の出雲崎の海に潜って感じた海への憧れ・感動・好奇の心は、大学に入って習得したスクーバダイビングにより更に深く大きなものになり、北は北海道・南は沖縄と日本周辺の海はもちろんのこと海外の海も潜り歩き、学生時代の大半を海で過ごすことになりました。

当時欧米から始まった海洋開発ブームは、やがて我が国をもその大きな流れの中に巻き込もうとしていました。映画「沈黙の世界」等で紹介された海底居住実験の日本版の実験計画が動き始め、私にもそのプロジェクトに参加する機会が与えられたのでした。それが「シートピア計画」30m実験（1972年）です。やがてそれは300m 有人潜水作業実験へと

こう」システムの開発により、私達は地球上で最も深い海底での調査、研究を可能とする手段を確立しました。

今、21世紀の新しい研究目標、到達点を地球内部に求めて「深海地球ドリリング計画」が動き始めています。地球は46億年にわたる長い歴史の中で、幾多の激しい環境変動を繰り返してきました。地球の息吹とも言える、このダイナミックな活動の克明な痕跡が、深海底の堆積物の中に残されています。巨大な火山活動あるいは隕石衝突による劇的な気候変動のプロセス、生命誕生の鍵を握ると言われる地殻内生命の存在、あるいは将来のエネルギー資源と目されるメタンハイドレート成因の謎

平成14年度 こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会

優秀賞……出雲崎中学校 吹奏楽「火の伝説」

(Bブロック中学校管楽合奏部門) 指揮：岡本世史治先生 演奏：出雲崎中学校吹奏楽部



感動の拍手がホールを揺るがす！

初挑戦で「優秀賞」に輝く

出雲崎中学校(佐藤 亨校長)吹奏楽部

平成十四年十二月一日(日)東京・メルパルクホール(芝大門)において「こども音楽コンクール平成十四年度東日本優秀演奏発表会」が開催され、出雲崎中学校吹奏楽部の演奏「火の伝説」が見事「優秀賞」の栄誉に輝きました。よくぞここまで頑張った！心が燃えた感動を有難う！ また来年も……

……優秀賞受賞までの道程……

☆平成十四年六月上旬
テープ審査に合格。

☆平成十四年八月九日

群馬県前橋市で行われた地区大会で、「最優秀賞」を受賞。東日本優秀演奏発表会出場決定(管楽合奏部門東日本Bブロック全体では十二校参加。十二校中二校が代表。全部門参加小中学校は四百十四校)

☆平成十四年十二月一日

こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会にて

「優秀賞」を受賞。

(顧問、岡本世史治先生の談話)

TBSこども音楽コンクールには今年度初めて出場しました。出雲崎の皆様方を始め本当に多くの方々に支えられて此処まで来る事ができました。その全ての方々へこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。有難うございました。これからも部員達と共により良い音楽を目指して頑張っていこうと思います。

(部員代表、斎藤早希さん談話)

私達三十二名の吹奏楽部員はこのコンクールに出場する為に県外に遠征しました。皆で参加したことはとても良い思い出となりました。東京での演奏も3年生は受験勉強の為、ブランクがありました。が、良い演奏ができたと思います。貴重な体験をさせていただく事ができたのも周囲の皆様のお陰と感謝しています。皆様有難うございました。

潮風に乗る山にこだました、あの歌この声！

幻想的なハーモニーが夕日に輝いた感動のひととき

東京出雲崎会のみなさま

絶大なるご支援を戴き

誠にありがとうございます

第七回出雲崎夕日コンサートが、昨年八月十日開催されました。当日は東京出雲崎会の絶大なご支援をいただきまして、なんとか開催にこぎつけることができました。当初の予想を上回るご協賛をいただきまして、本当にありがたく心から御礼を申し上げます。

七年前のある日、夕日を眺めながらこの浜辺で何か楽しい事ができないか？と数人で語り合ったのがこのコンサートの始まりでした。世界一大きいと言われる夕日を背にして、ギンギンに冷えたビールを飲みながら生の音楽が聴ければ、もう最高だぞ！仲間の気持ちは一つになりました。

毎回協賛金との闘いですが、美味しいビールを飲みたい一心で、いろいろな問題乗り越えてきました。

改めて申し上げるまでもなく、出雲崎の夕日は素晴らしい！。中央に佐渡があり右に弥彦があり、そして左に沈む夕日の配置は、天が恵んでくれた絶妙なプレゼントです。

この出雲崎にしかない恩恵を最大限活かして今年の準備を始めたところ。今後ともよろしく願っています。

「出雲崎夕日の会」事務局 高橋 速円



建立八十周年を迎えた

良寛堂

大森 正雄



出雲崎「良寛堂」



新井旅館「ミニ良寛堂」



たらちねの母がかたみと朝夕に
佐渡の島べをうち見つるかも

良寛堂が橘屋の屋敷跡に建てられたのは大正十一年九月十六日です。今年には八十周年を迎え、佐藤耐雪さんのゆかりの人びとを招いて、盛大な記念行事が催されました。

良寛堂の裏庭には、母の生国・佐渡を眺めている良寛の座像があります。これは昭和六十三年、良寛誕生二百三十周年の記念事業として、良寛堂を訪れる観光客の「良寛の姿を偲ぶ像がないのはさびしい」という声に応えて建てられたものです。

この座像建立のために、作られた「良寛を慕う会」が、町内の有志や全国良寛会などに募金呼びかけ、全国各地から寄せられた千百万円の浄財のうち、五百万円で座像を建て

残りは像のある庭園の整備に充てられたのです。

像の作者は三条市井栗出身の、樹沢 清（一八九二〜一九四八）で、朝倉文夫門下「十傑」の一人です。座像は五年の歳月をかけて調べあげ昭和二年に製作された、高さ十八・五センチのもので良寛塑像としては最初期に属しています。これを富山県高岡市の業者に依頼して約六倍に拡大したものです。

良寛が母を慕って詠んだ

たらちねの母がかたみと朝夕に
佐渡の島べをうち見つるかも

の短歌が台座に刻まれています。

耐雪翁と安田靫彦画伯と相原沐芳翁 ——靫彦画伯のお力添え——

ゆきひこ

もくほう



写真上「新井旅館本館」玄関
写真右下 同旅館の「天平風呂」

伊豆修善寺の新井旅館は、国の有形登録文化財に指定されている十五もの建物群から成り、中でも安田靫彦画伯設計の「天平風呂」はつとに有名であります。

画伯は大正八年（三十五歳）に一度だけの良寛遺跡巡りをなされた。この旅は相原寛太郎（沐芳）夫妻の仲人による、いと夫人との新婚旅行でもあったのです。この旅の先達をされたのが心の友耐雪翁と相馬御風で良寛敬慕・顕彰に尽くされた両氏よりたくさんのお教示を受けたのでした。設計を依頼された画伯は耐雪翁の良寛堂建立の意を汲み、資金面についても自分分は勿論のこと新井旅館の第三代当主、沐芳翁にも協力をお願いし、木材や大工の世話等の援助を受けたのです。

用材は沐芳翁が旅館新築用にと用意した台湾阿里山の檜材を、画伯の願いに依り、良寛堂の建設用材ならばと時価の半額で分けてくださったものです。



「良寛堂」と修善寺の新井旅館「天平風呂」は
台湾阿里山の同じ檜材で造られている兄弟なのだ

大正八年六月「五合庵」での靫彦画伯、相馬御風、耐雪翁の良寛敬慕の熱誠が、語らいが、後年遂に大正十一年九月十六日の良寛堂建立式と結びついたものであります。

（反町タカ子女史より聞き書き）

丁度今年には良寛堂建立八十周年記念の年。諸兄姉に告ぐ「天平風呂」は良寛堂の柱と見まがふ形、色をした円柱が天井高くそびえ、恰も堂宇に入りし様な簡素の中にも荘厳な感じにうたれる浴場であります。喧騒な社会をしばし忘れ沈黙考せば大正浪漫、良寛堂を巡る耐雪翁と靫彦画伯と沐芳館主の交友関係に想ひを馳せんや。平成十四年記 編集子

文化委員会では旅行を企画中です

代官所跡 「尼瀬」

出雲崎は文明年間(約五百年前)上杉家によって、佐渡征伐の拠点と海岸鎮護のため陣屋が置かれた。元和二年(一六六一年)に徳川幕府は出雲崎代官所を幕府直轄地(七万石)とした。以降、出雲崎は唯一佐渡からの金銀荷揚げ港として栄えるようになった。

代官所は町内の石井町、羽黒町、稲荷町と変遷し、文化五年(一八〇八年)にこの地に移転した。以降、明治に至るまで存続、歴代代官の中には、教育や港湾の築造に力をそそぐなど、名代官がおられた。今でも松の太木と屋敷神社「稲荷社」が往時を物語っている。



吉田松陰 船待ち宿の跡

「諏訪本町」

松陰が二十三歳の時の(嘉永五年(一八五二年)二月十五日当町に来て翌日佐渡に渡る)としたが荒天のため遂に十三日間も船待ちのため宿泊した旅館「塩太」の跡である。

彼の東北遊日記に

「海浜を行き出雲崎に至って宿す・・・十六日まさに佐渡に航せんとす電(ひょう)舟発すべからず・・・二十七日に至りて始めて舟を発するを得、延留十三日なり・・・」

原文は漢字

尼瀬獄門跡

「尼瀬」

当町は元和二年(一六六一年)徳川幕府の直轄地となり代官所が置かれた。付属機関として牢屋もつくられた。ここは極刑の執行をする刑場であった。おそらくは幾千もの斬首がなされたことであろう。特に重罪人の生首は浜辺の方にさらされたと伝えられている。

供養塔は天明年間の建立であり、数体の地藏尊と老榎は当時を忍ばせるものがある。地元では現在も毎年九月一日に供養祭を行なっている。



良寛剃髪の子

「尼瀬」

海岳山光照寺といい、曹洞宗永平寺を本山としている。入口の階段右に相馬御風の筆による「良寛禪師剃髪之寺」の石碑がある。良寛は幼名を栄蔵といい元服して文孝と名をつけた。安永三年の十八歳のとき感ずるところがあつて出家し、当寺の玄乗破了和尚により剃髪されて、ここできびしい修行をして四年間を過ごした。二十二歳の時、国仙和尚に従い良寛と名のり大愚と号して備中(現在の岡山県)玉島円通寺に赴き更に修行した。

良寛自筆の「招隠舎」の扁額がある。

石井神社と橋屋(良寛の生家) 「石井町」

神代の昔、各地を平治した大國主命が、この地に來られ佐渡ヶ島を平治しようとしたが海を渡る舟がない。そこで、石の井戸の水を汲んで撒くと一夜にして十二株の大樹が茂った。その靈樹で舟を造り海を渡って平治したと伝えられており、その時、大小の魚が舟を守り助けたので十二株の大樹の辺り(現在の井鼻)に宮を造り海上守護の大神を祀った。和銅四年に現在の地石井町に移されて以降、神事は名主「橋屋」山本家が司っていた。毎年六月十七・十八日両日に行はれている石井神社の大祭は元禄三年社領米をもとに橋屋山本家によって始められ、約三百年続いている。神輿渡御や百軒近くの露店で今も尚賑わいをみせている。



天領の豊かさを今に伝える

「出雲崎妻入りの街並み」

協議会の最近の動向について



当町はこの度、国土交通省から「歴史国道」に選定され、新潟県から「新潟の顔づくりモデル事業推進地区」の指定を受けました。以来豊かな自然と共生する歴史的な妻入りの景観を保持しながら、生活環境の向上を目指し目標を掲げて、各グループごとに活動をして六年余経ちました。その間町民の皆様は主旨を理解して戴くべく、景観シンポジウム、関係諸団体との懇話会、更に妻入り街並み景観にかかわるアンケート調査や、街並みの景観を統一すべく木製プランター枠の作成など、事業を展開してきました。

会員一同すべてボランティアの作業で一時は、会自体が頓挫するのではと、思う様な時もありましたが「妻入りの街並み景観保全要領」が出来てから、力が入る様になりました。

活動を始めて三年位経過した頃より石地屋さん、相沢さんなどが街並みにマッチする形態で改築して戴き、大変嬉しく思っています。更に昨年に入り

「割烹みよや」さんが改築されました（写真上）。これまでの雰囲気を生かし、道路に面した大正ロマンを漂わせる洋風館の佇まいは残され、二階正面には当時の職人の高い技術である、漆喰細工が施されてロビーとして活用されます。（町教育委員会では当町の第一号有形登録文化財として申請手続き中です）また、尼瀬諏訪神社前に築後七十年を経た町家を借受け手作りで、リフォームされ「星のまきば」として喫茶店がオープンしました。

以上、いずれも道路に面した一部であれ、また全体であれ、昔のままの佇まいを残して活用された事に、私たちは深く感動いたしました。

私たち協議会が要望していた妻入りの家屋のモデルが稲荷町の常見宅跡に「北国街道交流会館」として平成十五年から着工する運びとなりました。

完成後はどんな方法で、運営するか今後の検討課題ですが楽しみにしています。

当町も高齢化が進み、空家・空地が増えて櫛の歯が欠けた街並みが予想されます。どうか故郷に空家・空地をお持ちの方々におかれましては、海岸地区街並み形成に一層のご理解とご協力を御願います。

「街並み推進協議会」

井の鼻 渡邊 常侃

「美味しいふる里のお米」に
今年も真心添えてお届けします

平成14年産米 産地直送 出雲崎産コシヒカリ

☆出雲崎産減農薬コシヒカリ

5 kg... 2,900 円 (税込み)

(町稲作研究会生産米)

平成11年新潟県知事賞・平成12年経済連局長賞に輝く

☆かも米コシヒカリ

5 kg... 3,500 円 (税込み)

合鴨農法で無農薬・無化学肥料米

地元・近隣のおすすめ物産品 (税込み)

☆炊飯用竹炭...480円 ☆竹酢液...750円 ☆車麴 (30枚入)...630円 ☆鯉でんぶ (100g入)...400円 ☆北前漬 (300g入)...1,050円 ☆笹あめ (25個入) 420円 ☆もずく (260g入)...590円 ☆えご (200g入) 450円 ☆紙風船 (サッカー)...240円 ☆塩たき羊羹 (1本入)...630円 ☆手まりうどん (10袋入)...1,680円 ☆あじろ焼 (大)...1,050円

.....お問い合わせ・お申込は下記まで.....

天領の里 観光物産センター

〒949-4308 新潟県三島郡出雲崎町尼瀬6-57

電話 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770

「心の味覚」出雲崎ふるさと会 会員募集中!

春・秋・冬と年3回、盛り沢山の海の幸、山の幸を季節の香りとおとどけします
新鮮な「旬の特産品」を皆様でお楽しみ下さい

■年会費...20,000円

■発送回数...年3回 (5月・10月・12月)

■宿泊、観光施設の利用料金10%を割引
他にも様々な特典があります。



「出雲崎の冬」
12月パック発送例

.....お問い合わせ・お申込は下記まで.....

出雲崎町役場企画振興課内

「心の味覚」出雲崎ふるさと会

〒949-4353 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140

TEL 0258-78-3111 FAX 0258-78-4483

委員会、今年の活動方針



会の将来を憂い

後継者を開拓

組織委員会

副委員長 大橋 幸子

現在の東京出雲崎会の会員構成を見ますと六十歳以上が九割六十歳未満が一分の分布と思われまふ。組織委員会は、これを念頭に置き、会の持続への土台作りを考慮し、次の様な対策を立てました。

出雲崎中学校卒業生名簿から第十五回生（昭和三十七年三月卒業）以降、特に第二十回生から第三十回生迄を中心に、各同級会の幹事さんを探し出し、彼らにアタックすることです。これには三、四年を要すると覚悟します。

アタックするにも一つの問題があります。昨年三月総会時にアンケートを採った中で、ご返事を頂いた六十歳未満の全員が現在の総会会費が高い、せめて一万円以内に抑えて欲しいと言う意見でした。この問題は会全体のものであり特に運営委員会を中心になつて役員全員で具体策を考えていただきます。

最後に会員各位の身の回りに会の土台となる若い人を探し出して紹介してください。

各位のご協力とご意見をお待ちしております。よろしくお願ひします。

皆様方のお便りと

若い人の参加が是非

欲しいのです

広報委員会

委員長 佐藤恵美子

昭和十六年に産声を上げて以来年一回開催される総会には、今では二百名前後の方が出席される東京出雲崎会ですが、更に多くの方に会の存在・内容を知っていただきたいと、平成十年度から年一回会報を発行しております。

その為には読んでいただけることが第一です。で誌面作りに知恵をしばっています。又総会の案内も兼ねていきますので一月中には出来上がるよう作業を進めております。

遠近両用の眼鏡が、なかなかなじまず、その為老眼用の眼鏡をつけたりはずしたりする不便を嘆きながら、編集作業に携わっている現状です。ので、お若い方、是非是非参加して下さい。お待ちしております。

またご意見や感想等寄せていただくと参考になり、同時に委員の励みにもなりますのでどうぞよろしくお願ひします。



運営委員会の構造改革

について

運営委員会

委員長 小川 順一郎

組織委員会は全体的なまとまりや組み立て。運営委員会は制度や組織を動かし働かせる。制度とは運営の仕組み、きまりであるので統一すべきだと思ふ。

検討事項として

①受付：受付時の混雑緩和策、会場内の最良策

②当日出席者の料理の問題：各会及び各席の責任者に集金まで管理してもらう「テーブル」席人数」と料理の収支勘定が合わない（なる為）

③クロック使用時間の問題：当日のクロック（会場階）を徹底してもらつて、会館に要望する④第二部・懇親会の問題：アトラクション「大夫舞・獅子舞・おけさ」が基本ですが宴会の内容も落とさず充実して欲しい：との要望に応えなくてはならない。

⑤日時、場所、会費等は表紙に記してある通り、その他アンケート結果は最終頁に掲載してある通りです。

参加者あつての文化活動

文化委員会

委員長 山田 次則

会員の皆さん、こんにちは！文化委員会担当責任をやっております。山田次則です。

文化委員会は定時総会以外で会員間の親睦を計る為に設けられたと聞いております。此れまでは年一回の旅行等を企画しておりますが、主に役員が中心になつてしまひ会員全体に伝わっておりません。今後は旅行等の企画は早めに立て、ご案内をこの会報に載せたいと思ひます。この他に今年から年間を通して会員間の親睦を計るよう「おけさ部」を設け、年数回集まって運動不足の解消を兼ねて練習し、定時総会の時やふる里のお盆のおけさ流しに参加したり。又、出雲崎で毎年八月末頃に行われる全国出雲崎おけさ大会出場を目標にし、同時に地元との親睦と融和がもてると思ひますが、いかがでしょうか！当委員会はかなりの時間が掛かることを覚悟しながら試みたいと思ひます。これも会員皆さんの振るつての参加とご協力が有つての事です。宜しくお願ひ致します。文化委員会では、ご希望やご意見を求めています。



経費の予算化、基金の運用方法等を検討しています

会計委員会

委員長 内藤 久吉

○定時総会・各委員会が円滑に開催、運営される様に会計を取り計っていきます。

○今後は定時総会・各委員会・町行事参加及び県人会行事参加の各々の経費予算化の形式も取り計っていきます。

○「基金」の運用については万全を期す為にも運用方法、使用細則を早期に検討し、設定・実施に移したく考えております。○あくまで、ガラス張り会計で会員諸兄姉のご理解、ご賛同、ご承認を戴ける会計運用を心掛けて参る所存であります。

総会事務局からの

お願いごと

三月八日の定時総会開催日には例年のように、受付け時の混雑を避ける為に三連カードを同封しましたのでご記入の程をよろしくお願ひ致します。

ご出席できない方は、年会費として千円を同封の払込用紙にて、お振込み願ひします。

追悼抄



第五代会長（昭和五四年〜昭和六一年）

嶋川 善一様（享年九十一歳）

平成十四年十月二十日逝去なさいました

故嶋川善一氏は歴代会長顧問として私達東京出雲崎会に対してご指導ご教示を賜りました。此処に謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます

合掌

平成十五年度の事業予定

- 2月8日（土）役員会 定時総会役割分担
本年度活動方針
3月8日（土）15年度定時総会・懇親会
4月19日（土）役員会 総会の結果と反省
新年度予算の審議
7月12日（土）役員会 町の行事参加と出費審議
8月9日（土）出雲崎夕日コンサート
15日（金）船まつり花火大会
16日（土）出雲崎町成人式
10月〜11月中 会報発行準備及び原稿締め切り
11月15日（土）役員会 来年度総会の件
……「新潟県人会関係他」平成15年度……
1月11日（土）新春祝賀会 東京新潟県人会
2月16日（日）新潟出雲崎会「総会」
5月24日（土）東京新潟県人会「総会」
7月21日（日）海の日 東京新潟県人会納涼大会

井之鼻会

5月頃開催の予定

大勢のご出席をお待ちします

（歌壇・俳壇）「諸会」他推薦

波羅蜜多古酒の悟りや般若湯 磯野 猛（哲）
鯛雲孤にして豊か老一人 高橋 順二（順風）
古酒酌みて父の齢に近づけり 細木 勝子（郵子）
うそ寒や温泉の街をぶらりゆく 中川栄吉（夢想子）
穠田と空の青さが飛ぶ車窓 松本登美子（松美）
拒みても老いは来るなり彼岸寺 高木 昭治（泊舟）
老い祝ひ孫の賢しき励ましに
ホロリしつつも笑みこみあげる（金子 照枝）

「定時総会」について

（アンケート数 35人＝100%）

- 1) 時季・現状のまま
①良い…32人（91.4%） ②悪い…3人（8.6%）
☆②の希望は四月…2人・二月…1人
 - 2) 会場・現状のまま
①良い…33人（94.3%） ②悪い…2人（5.7%）
☆②の希望は…都心…1人 海洋…1人
 - 3) 会費・現状のまま
①良い…19人（54.3%） ②悪い…15人（42.9%）
☆無回答…1人 ②の希望…1万円以下
 - 4) 料理・現状のまま
①良い…22人（62.9%） ②悪い…10人（28.6%）
☆無回答…1人 ②の希望は和食…3人
 - 5) アトラクションの希望
☆現状で良い…14人（40%）無回答16人（45.7%）
飴獅子…1人 カラオケ…3人 工夫…1人
 - 6) ふる里お土産販売の希望
 - 7) その他・ご意見・ご感想・ご希望をご記入下さい。
- ☆ 6)、7)は右欄に掲載

アンケート調査の結果報告

東京出雲崎会の行く末を思い運営の仕方の参考資料にと考えて、昨年の六十周年記念定時総会の時、アンケートのハガキを記念品と一緒に袋に入れて皆様にお渡ししましたが、前もつての伝達が不十分の為か、二百通の内三五通程の返信をいただきました。有難うございます。お返しを下さいました年齢は五〇歳から八九歳までの方々で五〇代が六名、六〇代が十六名七〇代が八名、八〇代が三名、年齢未記入が二名でした。皆様から沢山のご意見・ご希望・ご感想をいただきました。このアンケート結果を幹部役員及び各委員会役員が心に留め

アンケート調査の左枠内(6)7)のまとめ

A:ユニークな提案

- ①名札に中学卒年、町名は区まで明記
- ②町から観光パンフレットを多種取り寄せて、会場に置く
- ③「おけさ」は自前でやつてはいかが？
- ④町の最近の様子を映写して欲しい
- ⑤会議のテーブルをU字型にして、アトラクションを中の空間で行なえばよく見える

⑥楽しく話し合いをするだけの時間があっても良い

B:おいしい提案

お土産販売について

- ①予め注文を聞いて販売する
- ②ちまき、笹だんご等を多めに
- ③海産物（魚、干物、浜焼き、鰯の煮付け、あなご、えご、天草、わかめ）も欲しい
- ④大黒屋のお菓子（良寛せんべい、和菓子、饅頭、他）
- ⑤てまりうどん
- ⑥五十歳前後の人達の参加を！

C:ご批判

- ①料理が冷たい、美味しくない
- ②日本料理も如何ですか
- ③後ろの席の人達がうるさい
- ④挨拶は短く。進行が悪い。
- ⑤会費はせめて壱万円に！

「編集後記」

昨年サッカーワールドカップで日本中が熱くなった。新潟のビッグスワンも大いに沸いた。アルビレックス新潟は惜しくもJ1昇格を逃がしたが、サポーターの応援はどこより熱狂的。県人パワー全開！J1昇格へ！又、ノーベル物理学賞の小柴氏と化学賞の田中氏、両氏のお人柄に感銘を受ける。嬉しく、誇りに思うが、我が身恥ずかし今号より我等出雲崎人を紹介する事になった。次号はどなたが登場するか、乞うご期待！ふる里をこよなく愛する（T）